VOL.01

米川よろず通信

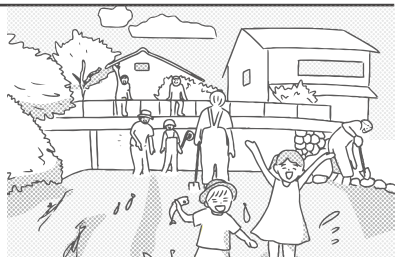
【米川よろず会議】
長浜まちなか地域づくり連合会、滋賀県立大学環境科学部、長浜バイオ大学未来生物研究所、合同会社andstep、ＮＰＯ法人近江淡水生物研究所、長浜まちづくり株式会社

【事務局連絡先】
長浜まちづくり株式会社
〒526-0059　長浜市元浜町7-5
TEL:0749-65-3935
MAIL:info@nagahama36.com

『米川よろず会議』を発足

長浜の町の風景は足元を縫うように流れる米川によって特徴づけられています。豊富な地下水、群れをなす小鮎、古いかわど。わたしたちは水辺の憩いや楽しみ、たくさんの工夫と学びの機会に溢れる米川のある風景を、未来に残していきたいと考えています。

米川に関連する情報の集約、米川のある長浜の将来イメージの共有、研修会の開催、そしてかわまちづくりを進める取り組みをじっくりとすすめて参ります。ぜひたくさんの方に興味を持って合流していただけたらと思います。



特集1　泥溜まりをバーブ工で解消する

沿川地域の困りごと >>> 川がカーブする内側に泥溜まりができると、そこに草木が生えたり、ゴミが溜まったり、蚊も出やすくなる。手作業での浚渫は重労働であるうえ町内は高齢化が進みマンパワーが不足しがち。数年に一度、大掛かりな浚渫を要望する意外に、自分たちでいつもきれいに管理することはできないか?

バーブ工とは >>> 川底の砂利や泥を入れた土のう袋を使って水の流れを制御する方法。釣り針のかえし（バーブ）のような形が特徴。バーブ工を避けようとする水の流れを利用して河床環境を制御することができる。出水の妨げにならない。護岸の石垣を痛めない。自由使用の範囲内で任意に実行することができるなどの特徴がある。

実験 >>> R5年3月 米川橋付近にできていた小さな泥溜まりで実験。うまく水流が当たるバーブ工の位置や長さを調整した後、設置から約2週間で泥溜まりはすっかり解消しました。同様の困り事を抱える沿川地域のみなさんや河川管理者との連携も進めていけるように、ご協力をお願いいたします。

LoGoチャット／みなさんの声を聴かせてください。

長浜市ではR3年に『湖の辺のまち長浜未来ビジョン』を策定し、そこに描いた「こうありたい未来の長浜」に相応しい米川での取り組みのほか、未来ビジョンを実現させる前向きな取り組みを応援しています。同時に、今後いっそう幅広いアイディアやエネルギーを集めてビジョンのアップデートを進めていくために、市民のみなさんからのアイディアや情報をぜひともご提供ください。

アンケートフォーム

長浜市商工振興課／0749-65-6545